



OCEANUS

取扱説明書

5141(OC)*JA

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

また、本機をご使用になる前には、安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

 **重要**

ご使用いただく前に、まずは時計の充電状態をご確認ください。

 参照 充電状態の確認… P.22

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら時計を動かします。

→ P.28

電波を受信して正確な時刻がわかります

送信所から発信される時刻情報を受信し、正確な時刻を表示します。

→ P.34

ワールドタイムがわかります

世界29都市の時刻と曜日を表示できます。

→ P.66

ストップウォッチとして使えます



経過時間を計測したいとき、0.05秒単位で120分まで計測できます。

→ P.70

タイマーとして使えます



設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

→ P.72

アラームを設定できます



設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

→ P.76

針の位置を自動的に補正します



万一、強い磁気や衝撃を受けて針の表示位置がずれた場合、位置のずれを自動的に補正します。

→ P.80

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています

(左の例は感電注意)。



⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています

(左の例は分解禁止)。



● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

 **危険**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアリング）に使用しないでください。



- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。

ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。



ご使用にあたって

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

この時計の特長.....	2
安全上のご注意.....	4
目次.....	12
ご使用になる前に.....	16
本文中の記号について.....	16
各部の名称	17
文字板の表示について.....	18
りゅうずの操作.....	20
充電状態の確認.....	22
時刻とカレンダーの確認.....	24
ソーラー充電について.....	28
充電の方法	28
充電状態の確認.....	30
充電時間のめやす	31
パワーセービング機能.....	32
電波時計について.....	34
電波の受信範囲と条件.....	36





受信を行う場所	39
電波の受信方法	40
受信に関する注意事項.....	44
モードの種類と表示について	46
モードの機能.....	46
モードの切り替え	47
時刻とカレンダーの合わせ方	48
ホーム都市の設定	49
スタンダードタイムとサマータイムの設定	54
時刻とカレンダーの手動合わせ	58
TIME 1とTIME 2の使い方.....	66
TIME 1とTIME 2を切り替える	67
TIME 2の使用例	68
現在の表示TIMEを確認する	69
ストップウォッチの使い方.....	70
針の見方.....	70
計測する.....	71

タイマーの使い方	72
針の見方	72
計測時間を設定する	73
計測する	74
タイムアップ音を止める	75
タイムアップ後の経過時間を計測する	75
アラームの使い方	76
針の見方	76
アラーム時刻を設定する	77
アラームのON/OFFを切り替える	78
アラーム音を止める	79
針のずれ補正	80
針のずれを手動で補正する	81
お困りのときは	84
針の動きと表示	84
充電	88
電波受信	89
アラーム	91
製品仕様	92

ご使用上の注意.....	94
お手入れについて.....	100
本製品で使用している電池について.....	102
金属バンドの駒詰めについて.....	103
UTC(協定世界時)とタイムゾーン.....	104
都市コード一覧表.....	106

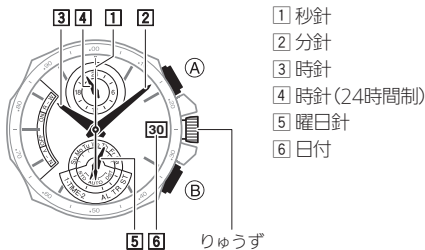
ご使用になる前に

本文中の記号について

-  **注意**: 誤った使用方法によるケガや故障を防ぐための情報を記載しています。
-  **重要**: 正しく使用するために必要な情報を記載しています。
-  **参考**: 各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。
-  **:** 詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

各部の名称

この時計の操作は、ボタン①、②およびりゅうずを使用します。また、各部の名称は次の通りです。

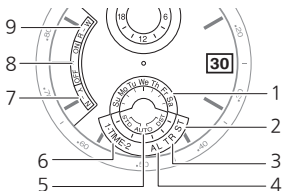


参考

- この取扱説明書では針や表示を説明するために、図に記載した番号を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写を行っているものがあります。ご了承ください。


文字板の表示について

文字板の略語や文字は、以下を表します。



1. Su/Mo/Tu/We/Th/Fr/Sa:曜日
2. ST:ストップウォッチモード
🔍 ストップウォッチの使い方…P.70
3. TR:タイマーモード
🔍 タイマーの使い方…P.72
4. AL:アラームモード
🔍 アラームの使い方…P.76


5. STD AUTO DST:サマータイムの設定

 スタANDARDタイムとサマータイムの設定…
P.54

6. 1-TIME-2:時刻モード

 TIME 1とTIME 2の使い方…P.66


7. Y-N:受信結果

 手動で電波を受信する…P.40

8. OFF ON:アラームON/OFF

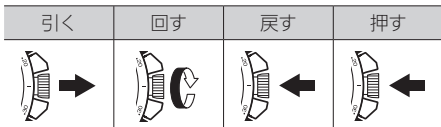
 アラームのON/OFFを切り替える…P.78

9. R-W:電波の受信状態

 手動で電波を受信する…P.40

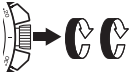
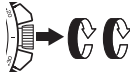
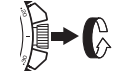
りゅうずの操作

りゅうずの操作は引いた状態で回すほか、りゅうずを押す場合もあり、イラストでは以下のように表現しています。



りゅうずを回して針を動かすとき、以下の操作で針の動きを早送りすることができます。

早送りの設定は2段階あり、早送り2の状態では針がもっとも速く動きます。

早送り1	早送り2	早送り解除
		
<p>りゅうずを引いた状態で、すばやく2度回す</p>	<p>早送り1のときに、りゅうずをすばやく2度回す</p>	<p>りゅうずを逆方向（矢印の方向）に回す、またはボタンを押す</p>

✓重要

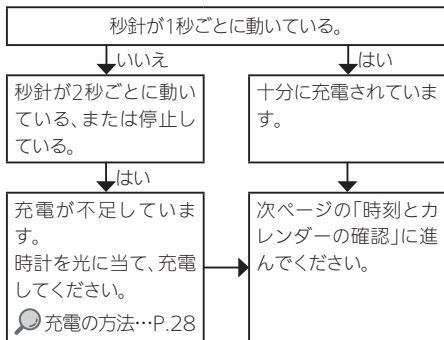
防水性能の低下や衝撃を受けた際の損傷を防ぐため、りゅうずを引いたままの状態で使用しないでください。

☰参考

- りゅうずを引いた状態で3分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。
- りゅうずを戻すとき強く押し過ぎるとりゅうずを押す操作になってしまいますので、押し過ぎないようにご注意ください。
- 早送りは、時刻モードおよびアラームモードの時刻修正、タイマーモードの時間セット、針のずれ補正で使うことができます。

充電状態の確認

- ① ピッピッと音が鳴るまでりゅうずを2秒以上押し続け、時刻モードに切り替えます。
- ② 以下のチャートに従って、充電状態を確認してください。



時刻とカレンダーの確認

- ① ピッピッと音が鳴るまでりゅうずを2秒以上押し続けて、時刻モードに切り替えます。
- ② 以下のチャートに従って、時刻とカレンダーの表示を確認してください。

時刻とカレンダーが合っている。

はい

そのままお使いいただけます。

いいえ

使用する地域(タイムゾーン)の代表都市およびサマータイムを設定してください。

 ホーム都市の設定…P.49

 **参考**

工場出荷時の初期設定は、以下の通りです。


- ホーム都市:東京(TYO/TOKYO)
- サマータイム設定:
スタンダードタイム・オート(STD AUTO)

時刻とカレンダーを合わせてください。

- 電波を受信できる場所でご使用の場合


 電波の受信方法…P.40

- 電波が受信できない場所でご使用の場合

 時刻とカレンダーの手動合わせ…P.58

✔ 重要

- この時計を主に日本以外の国で使用する場合は、使用するタイムゾーンを確認してホーム都市およびサマータイムの設定を行ってください。

 UTC(協定世界時)とタイムゾーン…P.104

- ホーム都市とサマータイムを正しく設定しないと、電波受信を行わなかったり、受信しても正しい時刻を表示できなくなります。

ご使用になる前に

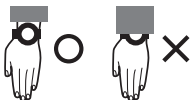
ソーラー充電について

この時計は、ソーラーセルによって発電した電気をバッテリー（二次電池）に充電しながら使用します。ソーラーセルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。ご使用の際は、文字板（ソーラーセル）に光が当たるように心がけてください。

充電の方法



時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。1ヵ月に1回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。



腕につけているときは、文字板(ソーラーセル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーセル)が一部でも隠れていると発電量が低下します。

注意

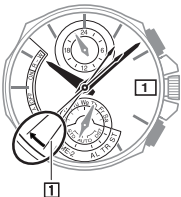
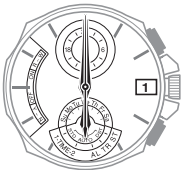
充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがありますので、火傷をしないように注意してください。

また、以下のような高温下での充電は避けてください。

- 炎天下に駐車している車のダッシュボード
- 白熱灯などの発熱体に近い所
- 直射日光が長時間当たり、高温になる所

充電状態の確認

バッテリー（二次電池）の充電状態は時刻モードの針の動きで確認します。充電不足になると使用できる機能が制限されるため、充電不足になったときは、文字板（ソーラーセル）に光を当てて充電してください。

充電不足	充電切れ
	
<p>1秒針が2秒ごとに動きません</p>	<p>すべての針が12時位置で停止します</p>

充電時間のめやす

充電を行う際のめやすとして、下表をご活用ください。

1日、使用するために必要な充電時間

環境(照度)	充電時間
晴れた日の屋外など(50,000ルクス)	8分
晴れた日の窓際など(10,000ルクス)	30分
曇り日の窓際など(5,000ルクス)	48分
蛍光灯下の室内など(500ルクス)	8時間

充電の回復に必要な時間

環境(照度)	充電切れから時計が動き出すまで	時計が動き出してから満充電まで
晴れた日の屋外など(50,000ルクス)	2時間	21時間
晴れた日の窓際など(10,000ルクス)	5時間	77時間
曇り日の窓際など(5,000ルクス)	8時間	124時間
蛍光灯下の室内など(500ルクス)	84時間	—

参考

実際の充電時間は環境によって異なります。

パワーセービング機能

パワーセービング機能とは、時計を暗い場所に置いておくと自動的にスリープ状態になる節電機能です。

スリープ状態には、レベル1「秒針スリープ」とレベル2「機能スリープ」の2段階あり、以下の条件によって切り替わりません。

スリープレベル	スリープまでの 所要時間	針と機能の状態
レベル1 (秒針スリープ)	暗い場所においてから約1時間	秒針のみ12時位置で停止します。
レベル2 (機能スリープ)	レベル1の状態から6～7日間	<ul style="list-style-type: none">すべての針が12時位置で停止します。日付表示のみ通常通り作動します。

☞ 参考

- スリープ状態の解除は、以下の方法で行います。
 - ボタンまたはりゅうずを操作する。
 - 文字板(ソーラーセル)に光を当てる。
- 午前6時から午後9時59分の間はスリープ状態になりません。午前6時の時点で、すでにスリープ状態の場合はスリープ状態を維持します。

- 時計を装着している場合でも、文字板(ソーラーセル)が袖などに隠れているとスリープ状態になることがあります。
- ストップウォッチモード、またはタイマーモードのときはスリープ状態になりません。

電波時計について


この時計は、送信所から発信される長波標準電波を受信し、正確な時刻とカレンダーを表示します。

電波を受信するためには、使用する地域(タイムゾーン)の代表都市をホーム都市として設定しておく必要があります。

- ホーム都市を設定する

 ホーム都市の設定…P.49

- 使用する地域(タイムゾーン)の代表都市を確認する。

 UTC(協定世界時)とタイムゾーン…P.104

受信機能に対応している地域の代表都市

ホーム都市	受信する電波
TOKYO(TYO)	日本の標準電波(JJY)
HONG KONG(HKG)	中国の標準電波(BPC)
HONOLULU(HNL)/ ANCHORAGE(ANC)/ LOS ANGELES(LAX)/ DENVER(DEN)/ CHICAGO(CHI)/ NEW YORK(NYC)	アメリカの標準電波 (WWVB)
LONDON(LON)/ PARIS(PAR)/ATHENS(ATH)	イギリスの標準電波(MSF) ドイツの標準電波(DCF77)

✓重要

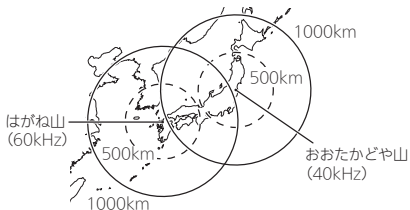
電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻設定を行ってください。

🔍 ホーム都市の設定…P.49

🔍 時刻とカレンダーの手動合わせ…P.58

電波の受信範囲と条件

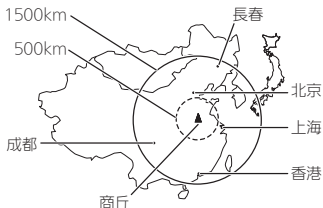
<日本(JJY)>



<アメリカ(WWVB)>



<中国(BPC)>



<イギリス(MSF)/ドイツ(DCF77)>



アンソーンから送信されている電波は、この範囲でも受信できます。

参考

- 電波の受信範囲内でも地形、天候、時期(季節)、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、それらの影響はより大きくなります。
- この時計を使用する国と、電波を送信している国で、サマータイム制度の有無や実施期間などが異なる場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。
- 中国は2010年6月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後、この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

受信を行う場所

- 金属を避けて、時計の12時位置を窓に向けて置いてください。電波を受信させている間は、なるべく時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。通常、夜間の方が電波受信しやすくなります。
- 以下の場所では、電波を受信しにくくなります。
 - ビルの中およびその周辺
 - 乗り物の中
 - 家庭電化製品、OA機器、携帯電話などの近く
 - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
 - 高圧線の近く
 - 山間部、山の裏側



電波の受信方法

受信方法には、決まった時刻に時計が自動的に受信する自動受信と、ボタン操作で受信する手動受信があります。受信には2～7分かかりますが、状況によっては最大で14分かかる場合もあります。

自動的に電波を受信する

① 時計を受信しやすい場所に置いてください。

午前12時から午前5時の間に、1日最大6回(中国は1日最大5回)自動的に受信を行います。ただし1日1回受信に成功すれば、その日は自動受信を行いません。

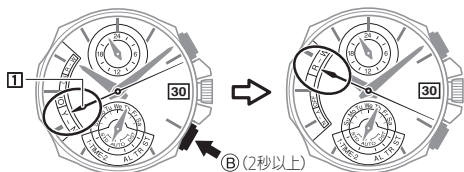
② 受信が成功すると自動的に時刻を修正し、時刻モードに戻ります。

受信に失敗した場合は、時刻を修正しません。

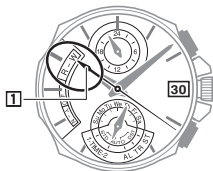
手動で電波を受信する

① 時刻モード(P.47)で、**Ⓑ** ボタンを2秒以上押し続けると受信を開始します。

①秒針が前回の受信結果「Y」(YES)または、「N」(NO)を示した後、「R」(READY)に移動します。



- ② 電波を受信しているときは、①秒針が「R」(READY)または「W」(WORK)を示し、現在の受信状況を表示します。



①秒針の表示と受信状況

R(READY)	受信が不安定です
W(WORK)	受信が安定しています


参考

- 受信の状況が安定するまで、10秒ほどかかる場合があります。
- 受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

③ 受信に成功すると自動的に時刻を修正し、時刻モードに戻ります。

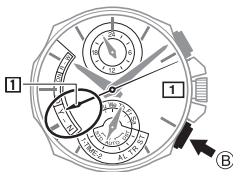
参考

受信を失敗した場合は、周辺の受信環境を確認の上、再度受信操作を行ってください。

 受信を行う場所…P.39

受信結果を確認する

- ① 時刻モードで**②** ボタンを押すと、前回の受信結果を確認できます。



①秒針の表示と受信結果

Y (YES)	受信成功
N (NO)	受信失敗

- ② **②** ボタンを押す、または何も操作をしないまま約1秒経過すると時刻モードに戻ります。

参考

受信が成功していても、その後に手動で時刻やカレンダーを変更した場合は、**①**秒針が「N」(NO)を示します。

受信に関する注意事項

- 正確な標準時を受信して時刻の修正を行っても、表示時刻に1秒未満の誤差を生じることがあります。
- 以下の状態では、電波を受信することができません。
 - タイマーのカウントダウン計測をしているとき
 - 充電不足のとき
 - スリープレベル2(機能スリープ)のとき
- 受信中にアラーム音が鳴ったときは、受信を中止します。
- 電波障害により誤った信号を受信した場合は、再度受信を行ってください。
- 電波受信による時刻の修正ができない場合は、平均月差±15秒以内の精度で動きます。

モードの種類と表示について

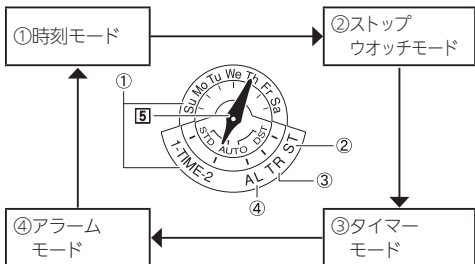
この時計には、機能に応じた4つのモードがあります。各モードの機能とモード切り替え方法は以下の通りです。

モードの機能

モード	機能	参照ページ
時刻モード	<ul style="list-style-type: none">• TIME 1の時刻、カレンダー表示• TIME 2の時刻、カレンダー表示	66
	ホーム都市、サマータイムの設定	49
	電波受信	40
	時刻、カレンダーの手動合わせ	58
ストップウォッチモード	0.05秒単位での時間計測	70
タイマーモード	タイマーの設定、計測	72
アラームモード	アラーム時刻の設定	76

モードの切り替え

りゅうずを押すごとにモードが切り替わり、**5**曜日針が各モードを示す位置に移動します。



参考


- どのモードからでも、りゅうずをピッピッと音が鳴るまで（2秒以上）押し続けると、時刻モードに切り替わります。
- アラームモードから時刻モードへ切り替わるとき、**5**曜日針はTIME 1またはTIME 2を示した後に、曜日に移動します。
- 時刻モードからストップウォッチモードへ切り替えるとき、他のモードよりも少し長めにりゅうずを押してください。

時刻とカレンダーの合わせ方

この時計は、ホーム都市を設定して電波を受信すれば、自動的に正しい時刻とカレンダーを表示します。

✓ 重要


電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻設定を行ってください。


 時刻とカレンダーの手動合わせ…P.58

ホーム都市の設定

ホーム都市は、都市コード一覧表の29都市の中から、この時計を使用する場所と同じタイムゾーンの都市を設定します。また、使用する国や地域に応じてスタンダードタイム(STD)またはサマータイム(DST)の設定を行います。

ホーム都市を正しく設定しないと、電波を受信できる場所においても受信できないほか、TIME 2で設定した都市の時刻を正しく表示しない原因になります。

 UTC(協定世界時)とタイムゾーン…P.104

 都市コード一覧表…P.106

重要

この時計を日本で使用する場合は、ホーム都市を東京(TYO/TOKYO)に設定します。

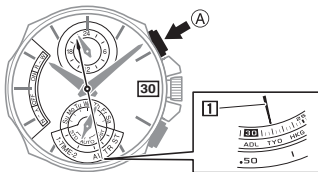
参考

サマータイムとは、DST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻(STD:スタンダードタイム)から1時間進める夏時間制度のことです。

サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

ホーム都市を確認する

- ① ピッピッと音が鳴るまでリュウズを2秒以上押し続け、時刻モードに切り替えます。
- ② ① ボタンを押すと①秒針が現在設定している都市コードを約1秒間示します。

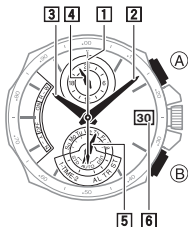


参考

都市の名称と都市コードは一覧表を参照してください。

🔍 都市コード一覧表…P.106

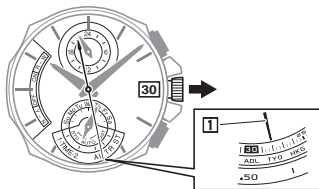
ホーム都市を変更する



- ① 秒針:都市コードを表示します
- ② 分針
- ③ 時針
- ④ 時針(24時間制)
- ⑤ 曜日針:サマータイム設定の表示および『TIME 1』、『TIME 2』を表示します。
- ⑥ 日付

- ① 時刻モードでりゅうずを引き、ホーム都市セット状態にします。

①秒針が現在選択している都市コードを示します。



- ② りゅうずを回し、①秒針を設定したい都市コードの位置に合わせます。

都市コードを選択すると、各針および日付表示が動き、選択した都市の時刻、カレンダーを表示します。

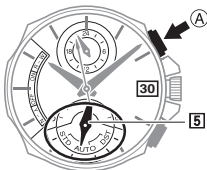
✓ 重要

りゅうずを引いた状態で3分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

③ ① ボタンを押し、スタンダードタイム(STD)またはサマータイム(DST)を変更します。

⑤ 曜日針の尾の部分でSTDまたはDSTを示します。

🔍 スタンダードタイムとサマータイムの設定…P.54



🗨️ 参考

都市コードで「UTC」を選択しているときは、「STD」と「DST」の切り替えはできません。

④ りゅうずを戻します。

時刻モードに戻り、設定に応じた時刻を表示します。

スタンダードタイムとサマータイムの設定

電波受信に対応した地域(中国を除く)では、AUTO設定にしておけば、電波を受信するとスタンダードタイム(STD AUTO)とサマータイム(DST AUTO)が自動的に切り替わります。

STD AUTO (スタンダードタイム・オート)	現在選択しているホーム都市が電波の受信に対応している場合、電波を受信すると自動的にスタンダードタイム設定に切り替わります。
DST AUTO (サマータイム・オート)	現在選択しているホーム都市が電波の受信に対応している場合、電波を受信すると自動的にサマータイム設定に切り替わります。

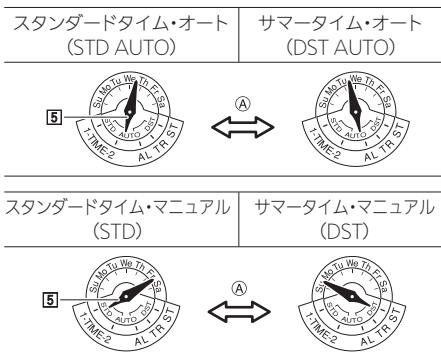
電波受信に対応していない地域では、STDまたはDSTのいずれかを手動で切り替えます。

STD (スタンダードタイム・マニュアル)	手動でスタンダードタイム設定に切り替えます。
DST (サマータイム・マニュアル)	手動でサマータイム設定に切り替えます。

スタンダードタイムとサマータイムを切り替える

- ① 時刻モードでりゅうずを引き、都市コードセット状態にします。
- ② ① ボタンを押してスタンダードタイムまたはサマータイムを選択します。


① ボタンを押すごとに **5** 曜日針の尾の部分がSTD AUTO/STDまたはDST AUTO/DSTを示します。



✔ 重要

電波受信に対応した地域で、サマータイムの実施期間や実施地域が送信所から発信された電波の内容と異なる場合、時計は正しい時刻を表示しません。

この場合、スタンダードタイムとサマータイムが電波受信によって自動的に切り替わらないように、手動の切り替えに設定してください。

 電波受信に対応した地域で、サマータイムの自動切り替えを手動切り替えに変更する…P.57

③ りゅうずを戻します。

電波受信に対応した地域で、サマータイムの自動切り替えを手動切り替えに変更する

- ① 時刻モードでりゅうずを引き、都市コードセット状態にします。
- ② ④ ボタンを⑤ 曜日針の尾の部分がDSTを示すまで(約3秒間)押し続けます。
STD/DST 手動設定モードに切り替わります。
 - STD/DST 自動設定モードに戻すときは、もう一度④ ボタンを⑤ 曜日針の尾の部分がDST AUTOを示すまで(約3秒間)押し続けます。
- ③ りゅうずを戻します。

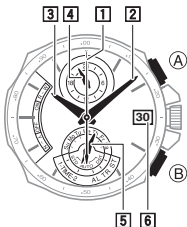
時刻とカレンダーの手動合わせ

電波受信できない地域で使用するとき、時刻とカレンダーを手動で合わせます。

✓重要

電波受信できる地域で使用しているときは、電波受信による時刻とカレンダーの修正をおすすめします。

手動による時刻の合わせ方




- 1 秒針:都市コードを表示します。
- 2 分針
- 3 時針
- 4 時針(24時間制)
- 5 曜日針:サマータイム設定を表示します。
- 6 日付

① 時刻モードでりゅうずを引き、都市コードセット状態にします。

①秒針が現在選択している都市コードを示し、⑤曜日針の尾の部分が現在のサマータイム設定を表示します。

② ホーム都市とサマータイムの設定を行います。

 ホーム都市の設定…P.49

 スタンダードタイムとサマータイムの設定…P.54

③ ⑥ ボタンを約2秒間押し続け、時刻の手動合わせ状態にします。

アラーム音が鳴り、①秒針が0秒位置に移動して止まります。

④ りゅうずを回し、時と分を合わせます。

- ④時針(24時間制)は③時針に連動して動きます。午前、午後の表示を正しく合わせてください。
- 針の動きは早送りできます。

 りゅうずの操作…P.20

参考

- 時刻を修正するときりにゅうずを逆回しすると、③時針が指し位置を微調整するために少し動きます。

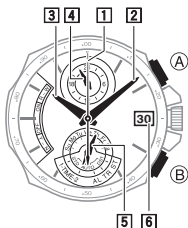
- 引き続きカレンダーの調整を行う場合は、**B**ボタンを押して「手動によるカレンダーの合わせ方」手順3から操作を行います。

 手動によるカレンダーの合わせ方…P.61

5 時報に合わせて、りゅうずを戻します。

時刻モードに戻り、針が動き始めます。

手動によるカレンダーの合わせ方



- ① 秒針:都市コード/月を表示します。
- ② 分針:西暦の1の位を表示します。
- ③ 時針:西暦の10の位を表示します。
- ④ 時針(24時間制)
- ⑤ 曜日針:サマータイム設定を表示します。
- ⑥ 日付

① 時刻モードでりゅうずを引き、都市コードセット状態にします。

①秒針が現在選択している都市コードを示し、⑤曜日針の尾の部分が現在のサマータイム設定を表示します。

② ㊸ ボタンを約2秒間押し続けます。

アラーム音が鳴り、**①**秒針が0秒位置に移動して止まります。

③ ㊸ ボタンを押して、日付セット状態にします。

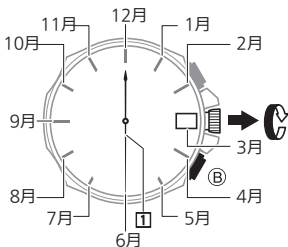
⑥日付がわずかに回転して、日付セット状態になったことのお知らせします。

④ りゅうずを回し、⑥**日付を設定します。**

⑤ ㊸ ボタンを押して月セット状態にします。

①秒針が現在の月まで移動します。

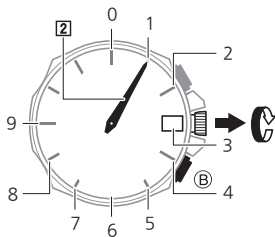
⑥ りゅうずを回し、月を設定します。



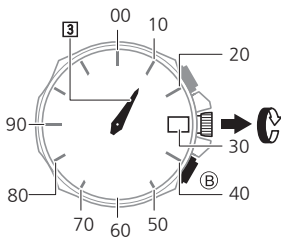
⑦ ④ボタンを押して、年セット状態にします。

- ②分針: 西暦の1の位を表示します。
- ③時針: 西暦の10の位を表示します。
- ①秒針: 0秒位置に移動します。

⑧ りゅうずを回し、年を設定します。



〈西暦の1の位〉



〈西暦の10の位〉

 **参考**

引き続き時刻の調整を行う場合は、**B** ボタンを押して「手動による時刻の合わせ方」手順4から操作を行います。

 手動による時刻の合わせ方…P.58

9 りゅうずを戻します。

- **5** 曜日針はカレンダーの設定に応じた曜日を自動的に表示します。
- 時刻モードに戻り、針が動き始めます。

 **参考**

この時計のカレンダー機能は、異なる月の長さや、うるう年にも対応しています。

TIME 1とTIME 2の使い方

時刻モードでは、『TIME 1』および『TIME 2』の2つの時間帯を設定し、2つを切り替えて表示できます。

『TIME 1』に主に使用する地域(タイムゾーン)の代表都市をホーム都市として設定し、『TIME 2』に、世界29都市中のいずれかの都市を設定すれば、ホーム都市とワールドタイムを切り替えて使うことができます。

参考

- TIME 2の都市が、電波を受信できる都市に設定されている場合は、電波受信による時刻の修正を行えます。
- TIME 1またはTIME 2いずれかの時間帯で電波受信による時刻の修正を行った場合は、もう一方の時間帯も同期して時刻を修正します。

TIME 1とTIME 2を切り替える

- ① 時刻モードで、**A** ボタンを以下の動作が終わるまで(3秒以上)押し続けます。
 - **1**秒針が、現在選択しているTIMEの都市コードを示した後に、切り替わるTIMEの都市コードを示します。
 - 切り替わったTIMEの都市コードに応じた時刻と曜日を表示します。
 - **5**曜日針が、切り替わったTIMEを示します。
- ② 手順1の動作完了後、**A** ボタンを離します。
 - **A** ボタンを押すか、または約1秒後に**5**曜日針が、曜日表示に移動します。
 - 約1秒後に切り替わったTIMEに応じたカレンダーを表示します。

TIME 2の使用例

TIME 1とTIME 2の時刻表示機能を使用して、以下のような便利な使い方ができます。

- 東京からニューヨークに移動し、さらにニューヨークからロンドンに移動した後、東京に戻ってきた場合の時刻設定。
 - a) 東京からニューヨークへ移動するとき：
 1. 時刻モードの表示をTIME 1からTIME 2に切り替える。
 2. TIME 2の都市をニューヨークに設定する。
 - b) ニューヨークからロンドンへ移動するとき：

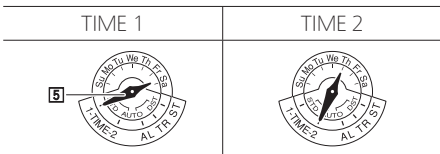
TIME 2の都市をロンドンに設定する。
 - c) ロンドンから東京に移動するとき：

時刻モードの表示をTIME 2からTIME 1に切り替える。

現在の表示TIMEを確認する

① 時刻モードでりゅうずを4回押します。

- モードの切り替えが一巡し、時刻モードに切り替わります。
- **5**曜日針が、現在の表示TIMEを約1秒間示した後、曜日を示します。



☰ 参考

りゅうずを2秒以上押し続けて時刻モードに切り替えた場合、**5**曜日針は曜日のみを示すため、現在の表示TIMEを確認できません。

② **A** ボタンを押すと、**1**秒針が現在設定している都市コードを約1秒間示します。

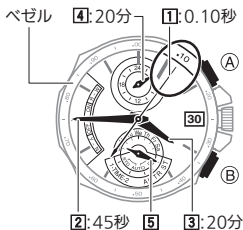
🔍 ホーム都市を確認する…P.50

ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは0.05秒単位で119分59.95秒まで計測できます。計測範囲を超えた場合は、0に戻って計測を続けます。

針の見方


例) 計測時間が「20分45秒10」の場合



- 1 秒針: 計測時間を0.05秒単位で表示します。
 - ベゼルの0.05秒単位の目盛りが刻まれています。
- 2 分針: 計測時間を1秒単位で表示します。
- 3 時針: 計測時間を1分単位で表示します。(0~60分)
- 4 時針(24時間制): 計測時間を1分単位で表示します。(0~120分)
- 5 曜日針: ストップウォッチモード“ST”を示します。

計測する

- ⑤曜日針が「ST」の位置を示すまでりゅうずを押して、ストップウォッチモードに切り替えます。

 モードの種類と表示について…P.46

- ②計測前に③ボタンを押して、リセットします。
- ③計測するときのボタン操作は、以下の通りです。

① → ② → ③ → ④
スタート ストップ (再スタート) (ストップ)

- ④計測終了後は、③ボタンを押して計測値をリセットします。

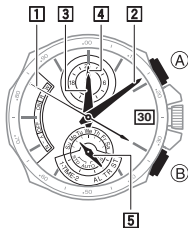
参考

- 計測中にりゅうずを引いても計測は継続します。
- ①秒針(0.05秒針)は計測開始から30秒間動きまゝです。30秒経過後は12時位置で止まり、計測を停止すると計測時間の位置まで針が動きます。

タイマーの使い方

タイマーは、1分から60分まで設定することができます。タイムアップになるとタイムアップ音が10秒間鳴り、タイムアップ後の経過時間を計測します。

針の見方



1 秒針:

計測時間を1秒単位で表示します。カウントダウン計測時は反時計回りに動き、タイムアップ後の経過時間計測時は時計回りに動きます。

2 分針:

計測時間を1分単位で表示します。カウントダウン計測時は反時計回りに動き、タイムアップ後の経過時間計測時は時計回りに動きます。

③ 時計:

タイムアップ後の経過時間を1時間単位で表示します。


④ 時計(24時間制):

タイムアップ後の経過時間を表示します。(0~24時間)

⑤ 曜日針:タイマーモード“TR”を示します。

計測時間を設定する

① ⑤曜日針が「TR」の位置を示すまでりゅうずを押して、タイマーモードに切り替えます。

 モードの種類と表示について…P.46

② タイマーモードで、りゅうずを引いて、タイマー設定の状態にします。

③ りゅうずを回して、タイマー計測時間を1~60分の間で設定します。

④ りゅうずを戻します。

参考

- 60分を設定するには12時位置に設定します。
- りゅうずを引いた状態で3分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

計測する

● タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。

Ⓐ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓑ
スタート ストップ (再スタート) (ストップ) リセット

参考

- カウントダウン終了後はタイムアップ音が鳴り、自動的に経過時間の計測を開始します。
- 計測をストップした状態でⒷボタンを押すと、カウントダウン開始前の設定時間にリセットします。
- 計測中にりゅうずを引くと、カウントダウンを中止してタイマー設定の状態になります。

タイムアップ音を止める

- ①ボタンまたは②ボタンを押すとタイムアップ音が止まります。

参考

タイムアップ音を止めても、タイムアップ後の経過時間計測は停止しません。

タイムアップ後の経過時間を計測する

- 経過時間計測時のボタン操作は、以下の通りです。

タイムアップ → ① → ① → ① → ②
(自動スタート) ストップ (再スタート) (ストップ) リセット

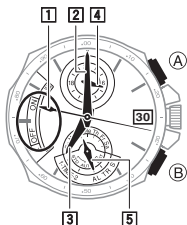
参考

- 1秒単位で24時間まで計測できます。
- 計測をストップして②ボタンを押すと、カウントダウン開始前の設定時間に戻ります。
- 計測中にりゅうずを引くと、計測を中止してタイマー設定の状態になります。

アラームの使い方

アラームをオンにすると、時刻モードで表示している時刻 (TIME 1あるいはTIME 2)に合わせて、設定時刻にアラーム音が10秒間鳴ります。

針の見方




- 1 秒針:アラームのON/OFF設定を表示します。
- 2 3 4 分針/時針/時針(24時間制):
アラームが鳴る時刻を表示します。
- 5 曜日針:アラームモード“AL”を示します。

アラーム時刻を設定する

- ① **5**曜日針が「AL」の位置を示すまでりゅうずを押して、アラームモードに切り替えます。

参考

アラームモードのまま2～3分間操作を行わないと、時刻モードに切り替わります。

 モードの種類と表示について…P.46

- ② アラームモードで、りゅうずを引いて、アラーム時刻設定の状態にします。

- ③ りゅうずを回して、アラーム時刻を設定します。

針の動きは早送りできます。

 りゅうずの操作…P.20

参考

時刻を修正するときりにゅうずを逆回しすると、**3**時針が指し位置を微調整するために少し動きます。

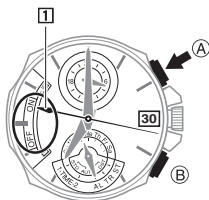
④ りゅうずを戻します。

☰ 参考

りゅうずを引いた状態で3分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

アラームのON/OFFを切り替える

- アラームモードで、**(A)** ボタンを押して、**①**秒針が示すアラームのONまたはOFFを切り替えます。



 参考

- 充電が低下しているときは、アラーム音が鳴りません。
- パワーセービング機能により、スリープレベル2のときはアラーム音が鳴りません。

アラーム音を止める

- ① ボタンまたは② ボタンを押すと、アラーム音が止まります。


針のずれ補正

強い磁気や衝撃を受けると、針や日付の表示がずれることがあります。この状態では電波を受信しても正確な時刻が表示できなくなります。

針のずれ補正は自動的に行います。

また、針のずれを手動で補正することもできます。

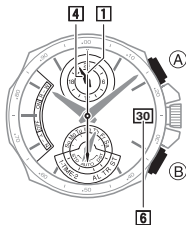
日付の表示がずれているときは、手動で補正してください。

 針のずれを手動で補正する…P.81

針のずれを手動で補正する

✓重要

正しい時刻を表示しているときは、この操作を行う必要はありません。



① 時刻モードで、りゅうずを引きます。

2 **Ⓑ** ボタンを、アラーム音が2回鳴り、**①**秒針が1回転するまで(7秒以上)押し続けます。

- **Ⓑ** ボタンを押すと**①**秒針が約2秒間止まりますが、1回転し終わるまで**Ⓑ** ボタンを押し続けてください。
- **⑥**日付を除くすべての針の補正を、自動的に開始します。
- 補正が完了すると、すべての針が12時位置に移動します。

3 **④**時針(24時間制)が12を示しているときは、12時間分ずれています。**Ⓐ** ボタンを約2秒間押し続けて、**④**時針(24時間制)を24の位置に補正します。

4 **Ⓑ** ボタンを押して、**⑥**日付表示位置の補正を行います。

5 **⑥**日付が1を表示していることを確認します。

- 1を表示していないときは、りゅうずを回して表示位置を合わせます。
- りゅうずを引いた状態で、すばやくりゅうずを反時計回りに回すと、逆回りに自動送りさせることができます。

- 自動送りを止めるには、いずれかのボタンを押します。

⑥ りゅうずを戻します。




時刻モードに戻り、時刻を表示します。





参考




補正を中止したいときは、りゅうずを戻してください。それまでに補正してある針は、補正された状態で時刻モードに戻ります。




お困りのときは

針の動きと表示


状況	原因と対処
現在の表示モードがわからない。	りゅうずを2秒以上押し続け、時刻モードに戻ってください。  モードの種類と表示について… P.46
時刻モードからストップウォッチモードへ切り替わりにくい。	時刻モードからストップウォッチモードに切り替えるとき、りゅうずを押す時間を少し長めに設定していますので、少し長めにりゅうずを押してください。
秒針が2秒ごとに動いている。	充電が不足しています。光に当てて充電してください。  充電の方法…P.28
すべての針が12時位置で停止し、ボタン操作ができない。	充電切れです。充電が回復するまで光を当ててください。  充電時間のめやす…P.31

状況	原因と対処
<p>突然、針の動きが速くなった。</p>	<p>以下が原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スリープを解除し、復帰している。  パワーセービング機能…P.32 ● 電波の自動受信により、時刻修正をしている。  電波の受信方法…P.40 ● アラームモードから時刻モードに自動的に切り替わっている。  モードの種類と表示について…P.46
<p>りゅうずを回しても、何も操作ができない。</p>	<p>りゅうずを引いたまま3分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。</p> <p> りゅうずの操作…P.20</p>

状況	原因と対処
<p>針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった。</p>	<p>充電回復モードの状態です。回復するまで(約15分)お待ちください。明るい場所に置いて充電を行うと早く回復します。</p> <p> 参考</p> <p>アラームや電波受信などを短時間に連続使用すると充電が急激に減少するため、一時的に針の動きを停止して充電回復モードに切り替わります。充電回復モードのときは、すべての機能が使用できなくなりますが、回復すると通常の状態に戻ります。</p>
<p>現在時刻の表示が数時間ずれている。</p>	<p>ホーム都市の設定が正しくありません。ホーム都市の設定を確認してください。</p> <p> ホーム都市の設定…P.49</p> <hr/> <p>TIME 1とTIME 2 の表示を間違えています。</p> <p> TIME 1とTIME 2を切り替える… P.67</p>

状況	原因と対処
<p>現在時刻の表示が1時間ずれている。</p>	<p>サマータイム設定の「STD(スタンダードタイム)」と「DST(サマータイム)」が正しくありません。</p> <p> スタンダードタイムとサマータイムの設定…P.54</p>
	<p>サマータイム設定の「STD(スタンダードタイム)」または「DST(サマータイム)」が手動設定になっています。</p> <p> スタンダードタイムとサマータイムの設定…P.54</p>
<p>時刻と日付の表示位置がずれている。</p>	<p>強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。ずれの補正を行ってください。</p> <p> 針のずれ補正…P.80</p>



充電





状況	原因と対処
光に当てても操作できない。	充電切れになると操作ができなくなります。充電が回復するまで光を当ててください。  充電時間のめやす…P.31


電波受信

この項目は、以下の都市をホーム都市に設定している場合に該当します。


TOKYO (TYO), HONG KONG (HKG), HONOLULU (HNL), ANCHORAGE (ANC), LOS ANGELES (LAX), DENVER (DEN), CHICAGO (CHI), NEW YORK (NYC), LONDON (LON), PARIS (PAR), ATHENS (ATH)

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない。 (受信結果が「N (NO)」になる)	電波受信中に時計を動かしたり、ボタンを操作した。 電波を受信させるときは、受信の場所に注意して、時計が受信をしやすい環境に置いてください。  受信を行う場所…P.39
	電波受信中にアラームが鳴った。 受信中にアラームが鳴ると受信を中止します。
	電波障害による受信の失敗。 周辺環境を確認し、電波障害のない所で受信してください。  電波の受信範囲と条件…P.36

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない。 (受信結果が「N (NO)」になる)	<p>送信所から電波が発信されていない可能性があります。</p> <p>日本標準時プロジェクトのホームページ等をご確認ください。</p> <p> 電波の受信範囲と条件…P.36</p>
電波が受信できない	<p>時刻モードになっていません。</p> <p>りゅうずを2秒以上押し続け、時刻モードに切り替えてください。</p> <p> 電波の受信方法…P.40</p>
	<p>ホーム都市の設定が正しくない可能性があります。</p> <p>ホーム都市の設定を確認してください。</p> <p> ホーム都市の設定…P.49</p>
	<p>タイマー計測を行っています。</p> <p>タイマー計測中は、受信できません。計測を止め、時刻モードに切り替えてください。</p> <p> 電波の受信方法…P.40</p>

状況	原因と対処
電波が受信できない	<p>充電が不足しています。 充電が不足すると受信できません。充電が回復するまで光を当ててください。</p> <p> 充電状態の確認…P.30</p>

アラーム

状況	原因と対処
アラームが鳴らない	<p>充電が不足しています。</p> <p> 充電状態の確認…P.30</p>
	<p>りゅうずを引いた状態になっています。 りゅうずの位置を戻してください。</p>

製品仕様

- 精度: 電波受信による時刻修正が行えない場合は、平均月差±15秒以内
- 基本機能: 時(2分ごとに針が動きます)・分(10秒ごとに針が動きます)、秒、24時間制、日付(2000~2099年までのフルオートカレンダー)、曜日
ホーム都市設定機能(TIME 1/TIME 2)
世界29都市(29タイムゾーン)の時刻を表示
- 電波時計機能: 自動受信・手動受信
受信結果確認機能
スタンダードタイム/サマータイムの自動/手動切り替え
受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77で対応)
受信電波=コールサイン:
JJY(40kHz/60kHz)、BPC(68.5kHz)、
WWVB(60kHz)、MSF(60kHz)、
DCF77(77.5kHz)
- ストップウォッチ機能: 計測単位=0.05秒
計測範囲=119分59秒95(120分計)
計測機能=経過時間

- タイマー機能: セット単位=1分
計測範囲=60分
計測単位=1秒
タイムアップ後の経過時間計測(1秒単位、24時間)
- アラーム機能: セット単位=時・分
- その他の: 針位置自動補正機能、パワーセービング機能
- 使用電池: 二次電池
- 持続時間: 約5ヵ月
(光に当てないで、1日あたり電波受信1回(約4分)使用した場合)

ご使用上の注意

■防水性能

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」、「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用 防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」 表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキューダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋にWATER RESIST またはWATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。

- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるところのご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やサビ(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換(有償)をお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/Baby-G/G-ms)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含んでいるクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。

- 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、サビ(錆)が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくるとサビ易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。
また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈サビ(錆)〉

- 時計で使用している金属はサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

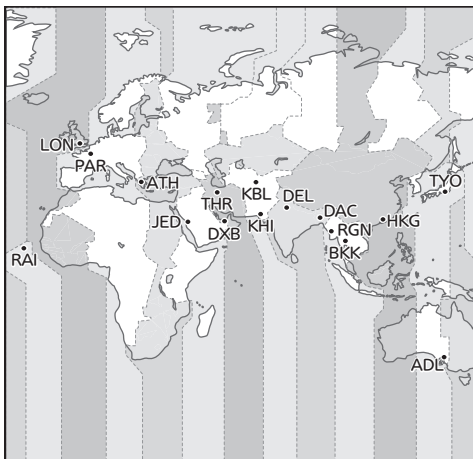
- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーセルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなる場合があります。その場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ/お客様修理相談センターにご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

- 金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノお客様修理相談センターへお問い合わせください。

UTC(協定世界時)とタイムゾーン

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。

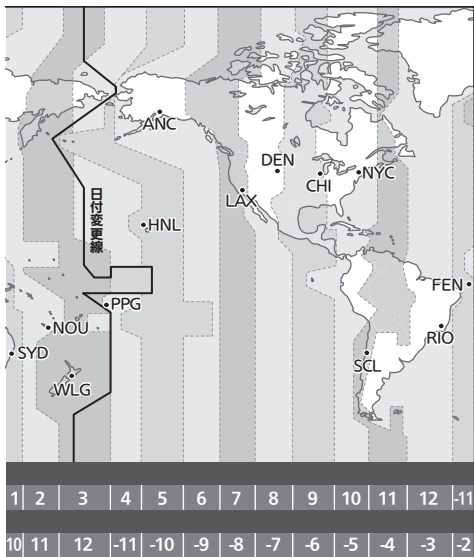


JST(日本標準時)との時差

-11 | -10 | -9 | -8 | -7 | -6 | -5 | -4 | -3 | -2 | -1 | 0 | 1

UTC(協定世界時)との時差

-2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10



都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
UTC		0	協定世界時
LONDON	LON	0	ロンドン
PARIS	PAR	+1	パリ
ATHENS	ATH	+2	アテネ
JEDDAH	JED	+3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+4	ドバイ
KABUL	KBL	+4.5	カブール
KARACHI	KHI	+5	カラチ
DELHI	DEL	+5.5	デリー
DHAKA	DAC	+6	ダッカ
YANGON	RGN	+6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+7	バンコク
HONG KONG	HKG	+8	香港
TOKYO	TYO	+9	東京
ADELAIDE	ADL	+9.5	アデレード
SYDNEY	SYD	+10	シドニー
NOUMEA	NOU	+11	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+12	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	-11	パゴパゴ

コード		タイムゾーン	都市名
HONOLULU	HNL	-10	ホノルル
ANCHORAGE	ANC	-9	アンカレジ
LOS ANGELES	LAX	-8	ロサンゼルス
DENVER	DEN	-7	デンバー
CHICAGO	CHI	-6	シカゴ
NEW YORK	NYC	-5	ニューヨーク
SANTIAGO	SCL	-4	サンティアゴ
RIO DE JANEIRO	RIO	-3	リオデジャネイロ
F. DE NORONHA	FEN	-2	フェルナンド・デ・ノローニャ
PRAIA	RAI	-1	プライア

参考

- この表は2010年7月現在作成のものです。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所のタイムゾーンを確認し、タイムゾーンが一致する都市コードを選択してください。
- この表のタイムゾーンは、協定世界時(UTC)を基準としたものです。